発行日／平成３１年４月２６日

ひがしどおり 議会だより No. 67

東通原子力発電所の早期再稼働及び

本格建設工事再開等を求める要請活動

平成 31 年 2 月 13 日

自由民主党本部幹事長

◆2月定例会のあらまし ----- ②

◆一 般 質 問 -------- ③～④

◆議会の動き ---------- ⑤

◆活 動 報 告 -------- ⑤～⑥

発行／東通村議会　編集／総務企画常任委員会　〒039-4292 青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地34　TEL 0175-27-2111　FAX 0175-27-2130

東通村議会第１回定例会開会

新年度の所信表明を述べる越善村長

平成31年２月東通村議会第１回定例会は、２月25日開会し、３月５日までの９日間の会期で開催されました。

今定例会には、村長より提案された、人事案件１件、条例案件５件、補正予算案件６件、各会計新年度当初予算案件６件、契約案件１件、その他の案件５件の計24議案が一括上程され、慎重審議の結果、全会一致で可決・承認されました。

また、定例会に先立ち２月21日には新年度予算案の概要説明のため、議会全員協議会が開催されました。

なお、この度町村議会議員として、永年に亘り地方自治の振興に貢献した功績により、次のとおり、７名の議員が受賞し、定例会最終日に議場において、丹内議長から表彰状の伝達がありました。

青森県町村議会議長会表彰

※在職19年以上（４名）

・**丹内俊範**　議長
・**渡部英夫**　議員
・**小笠原清春**　議員
・**二本柳弘志**　議員

※在職11年以上（２名）

・**川村　隆**　副議長
・**伊勢田　勉**　議員

全国町村議会議長会表彰

※在職15年以上（１名）

・**川端一松**　議員

受賞されました、７名の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

主な議案の審議内容

議案第１号	東通村固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて 議案内容／「坂本昭義」氏の選任	原案同意
議案第６号	東通村観光振興条例 議案内容／総合的な観光振興を図るため、新たな基本理念を定める	原案可決
議案第13号	平成３１年度東通村一般会計予算 議案内容／歳入・歳出総額　８１億７千万円（対前年比４億７千７百万円増）	原案可決
議案第14号	平成３１年度東通村国民健康保険特別会計予算 議案内容／歳入・歳出総額　８億５千万円	原案可決
議案第15号	平成３１年度東通村後期高齢者医療特別会計予算 議案内容／歳入・歳出総額　５千７百万円	原案可決
議案第16号	平成３１年度東通村介護保険特別会計予算 議案内容／歳入・歳出総額　９億７千万円	原案可決
議案第17号	平成３１年度東通村下水道事業特別会計予算 議案内容／歳入・歳出総額　３億１千２百万円	原案可決
議案第18号	平成３１年度東通村水道事業会計予算 議案内容／収益的支出予定額　２億６千７百５７万６千円	原案可決

一般質問

今定例会には、2名の議員による一般質問が行われました。

議員が、村長に行政全般に亘る質問や、説明を求めたりすることで、定例会に於いて行われます。

【質問者】田村 智和 議員

【問】住民サービスの向上について

▼東通村役場は、誰もが利用しやすくあるべきと考えるが、高齢者・妊婦・障害者などの体が不自由な方の、優先駐車スペースの整備や、インフォメーションセンターの現状について伺う。

また、東通村の住所表記は長く、簡略化が必要と考えるが、その解消に向けた計画はあるのか。

田村 智和 議員

【答弁者】越善 村長

●優先駐車スペースの整備については、庁舎正面に1台分を設けており、また庁舎内には車いすも常備し、介助が必要な方には利用しやすいように配置し、必要に応じて職員が直接対応するなどの配慮をしている。

ただ、現在の優先駐車スペースはマークも薄れ、また誘導表示等も無いことから、一般来客と優先者との使い分けをわかりやすくすると共に、案内看板の設置や白線ライン優先者マークの引き直し等の対応に加え、駐車スペースの増設についても、前向きに検討していきます。

●また、インフォメーションセンターの現状ついては、ふるさと広場や体育館、役場周辺を一体として、その中心にバス停留所を配置し、村民や村外から訪れる方々が休憩や待合のできる施設を、現在インフォメーションセンターの名称で使用しています。

自治体が総合窓口としての庁舎に設置するインフォメーションについては、更なる住民サービスの向上のための、総合窓口システムの導入は人員配置や、現状の窓口対応を検討すると共に、わかりやすい庁舎内の案内表示に加え、また庁舎周辺の道路案内板の設置についても、併せて検討していきます。

インフォメーションセンター

●次に、村の住所表記の簡略化については、まず住所は「土地の地番を用いた表示」と、「住居表示番号を用いた表示」の二通りの表示方法があります。住所表記の簡略化の方法については、住居表示に関する法律に基づき、「住居表示による変更」と「字の名称変更」がありますが、現在村には市街区が無く、また、地番を用いた住所の表示は種々の問題が発生したり、日常生活や行政、産業活動に大きな支障をきたすことがないため、住居表示による簡略化は必要がないものと考えている。

「字の名称変更」による住所表記の簡略化は、村の地名の由来や伝統により歴史文化が息づいていることから、字の名称変更は慎重になるべきと考える。

【問】村内部落集会施設の維持管理について

▼村内集会施設の維持管理経費が、各部落会において大きな負担となっていると聞くが、村と部落会との管理運営協定の状況について伺う。

●村所有の集会施設は、部落会の要望により、人口規模や運営状況など地元の状況に応じて、規模・設備を十分に協議し設計・整備を実施してきたところである。

各施設の管理運営については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、集会施設や製氷施設・牧場及び野花菖蒲の里など29施設の指定管理を行っている。その内16の集会施設については、地元の部落会を指定管理者に指定し、協定を締結している。

集会施設の協定内容については、無償で管理運営をいただいており、維持管理費の負担については、主に光熱水費、電話、浄化槽、消防設備、修繕があるが、多額の費用がかさむ経費については部落会と協議して対応している状況にあり、このように、集会施設の維持運営については、部落会はもちろん、住民のご理解とご協力が必要不可欠であり、今後も指定管理者である部落会と連絡を密にし、きめ細かい対応を心がけていく。

【質問者】伊勢田　勉　議員

【問】高齢者独居世帯への福祉行政支援について

▼全国的な少子高齢化が加速する中にあって、村内における75歳以上の一人暮らし世帯の件数、また高齢者一人世帯への行政の支援状況について問う。

伊勢田　勉　議員

【答弁者】越　善　村　長

●平成31年1月末現在、村内における75歳以上の一人暮らし世帯数は、男性だけが77世帯、女性だけは262世帯の計339世帯である。

主な高齢者の年齢ごとの公的サービスは、65歳を超えた際には「高齢者インフルエンザ予防接種の無料化」、「高齢者肺炎球菌予防接種の無料化」、70歳を超えた方には「村健康増進施設での入浴料無料」、75歳以上には「いきいき健康長寿の集いの招待」、「百歳祝金制度」がある。

また、一人暮らし世帯、高齢者のみの世帯では日常生活での安全安心が最重視されることから、緊急時に連絡が取れる安心電話の設置、行政連絡員・民生委員・地域包括支援センター及び保健師による訪問活動、東通村消防団と関係機関合同による冬季消防巡回査察及び高齢者世帯の安否確認・生活状況や火元の確認を行っている。

更に昨年7月、郵便局と締結した基本3協定及び防災協定、同じく11月には郵便局のみまもりサービスを「ふるさと納税の返礼品とすることに関する協定」の締結など、官民で取り組んでおり、今後も切れ目のない支援を続けて参ります。

【問】健康増進施設「野花菖蒲の里」内温泉利用料の免除拡大について

▼野花菖蒲の里温泉は、広く村民に利用され好評でありまた、他市町村の施設と比較しても利用料は安価である。

さらに6歳未満と、75歳以上の利用者については入浴料を免除しているが、村政の最重要施策に掲げる「次世代を担う子どもたちのひとづくり」の一助として、小中学生の入浴料金の無料化拡大について村長の見解を伺う。

【答弁者】越　善　村　長

●健康増進施設は、高齢者保養コミュニティセンター建設事業により、保健・医療・福祉の包括ケアシステムの先駆けとなる施設で、主に高齢者の活動を支援する施設として整備したものであり、平成11年度に供用開始し、男女ともスロープ付きの浴槽と7つの洗い場を備えた施設として設置したものです。

昨年度1年間の延べ利用人数は、「70歳以上が2万7千235人・1日当り約90人」「12歳以上～70歳未満が2万1千31人・1日当り約70人」、「6歳以上～12歳未満が1千564人・1日当り約5人」、「6歳未満が2千282人・1日当り約8人」で合計5万2千112人となり、1日平均、約173人が利用している計算となる。なお中学生の利用については、年間約1000人程度であることから小中学生全体で年間約1千700人程度・1日当り約6人弱となっています。

このように、健康増進施設は多くの方に利用されていますが、建設から20年が経過し様々な課題があることから、健康増進施設という特色を充分考慮し、関係者のご意見も拝聴し、施設全体の課題や小中学生の無料化も含め総合的に判断・検討していく。

第1回定例会は、新年度予算等重要な案件が審議され、すべての議案が全会一致で可決・承認されました。

質疑の様子

議 会 の 動 き

1月7日(月)	東通村消防団出初式	議員全員	東通村体育館周辺
14日(月)	東通村成人式	議員全員	中学校体育館
22日(火)	全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会	丹内議長	東京都
23日(水)	エネルギー講演会	議員全員	東通村体育館
2月12～13日	東通原子力発電所の早期再稼働・本格工事着工等に関する要請活動	議員全員	仙台・東京
15日(金)	議会運営委員会	委員全員	委員会室
〃	東通村自治功労者表彰式	丹内議長	むつ市内ホテル
18日(月)	下北郡町村議会議長会総会	丹内議長	青森市
19日(火)	青森県町村議会議長会総会	丹内議長	青森市
〃	東通村総代連合会総会後の懇談会	正副議長	むつ市内ホテル
21日(木)	議会全員協議会／東通小学校給食試食会	議員全員	議場／東通小学校
25日(月)	第1回定例会招集	議員全員	議場
3月4日(月)	本会議／一般質問・議案審議・採決	議員全員	議場
5日(火)	本会議／議案審議・採決・閉会	議員全員	議場
9日(土)	こども園ひがしどおり卒業証書授与式	議員全員	こども園
13日(水)	東通中学校卒業証書授与式	議員全員	東通中学校
16日(土)	東通小学校卒業証書授与式	議員全員	東通小学校

要請活動

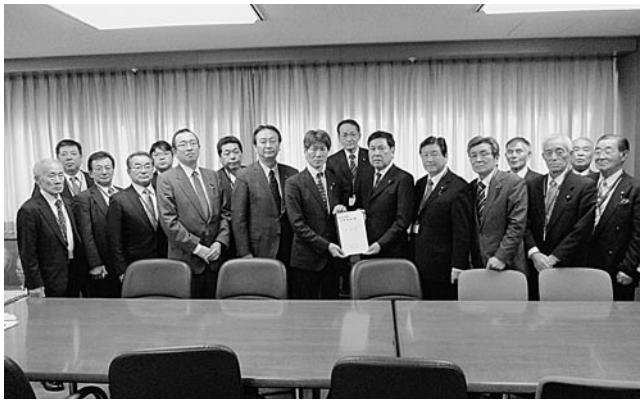
２月１２日から１３日において、東通原子力発電所の早期再稼働・本格工事再開及び立地地域への影響緩和を求め、経済産業省・自由民主党本部・自民党エネルギー政策等関係議員及び県選出国会議員並びに東北電力㈱・東京電力ＨＤ㈱の事業者へ要請活動を実施しました。

写真上／額賀福志郎 原子力政策需給問題調査会長へ要請

写真上／林 幹雄 自民党幹事長代理へ要請

写真下／高木 毅 同副会長へ要請

写真下／磯崎仁彦 経済産業副大臣へ要請



滝沢　求　参議院議員へ要請

江渡　聡徳　衆議院議員へ要請

小早川東京電力ＨＤ㈱社長へ要望

原田東北電力㈱社長へ要望

東通小学校給食試食会

2月21日（木）議会全員協議会の終了後、東通小学校において、学校給食試食会へ参加しました。

当日は、5年生の児童と一緒に東通牛を使用したビーフカレーを試食し、給食の美味しさも、さることながら、子供たちの礼儀正しさに感心させられたひと時でした。ありがとうございました。

子ども達と談笑する議員

議会・議場の紹介

写真右の矢印、議長席背面の村章を中央に掲げる議場のシンボルは、よく観察すると29枚のボードに区切られています。1枚々はそれぞれ幅・長さが異なりますが、その面積は29枚すべて等しく、これは、村の意思決定機関である議会は、地区の大小にとらわれず、また村民一人ひとりに対して、常に公平・公正な姿勢で臨まなければならない事を表しています。

編集後記

新年度スタートの今日、新元号の発表がありました。平成の時代も、残すところ1ケ月となり、奇しくも私達議員の任期も平成と共に終了し、この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、改選後の新しい議員が誕生し、新たな議会を構成することになります。新元号に込められた、「人々が心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」≪令和≫が皆様方にとって、しあわせで穏やかな時代でありますことを心から念願いたします。

また、今定例会に傍聴頂きました３９名の方々に対しましては、本紙面を借り御礼申し上げます。

今回の議会だより６７号は、総務企画常任委員会が担当いたしました。